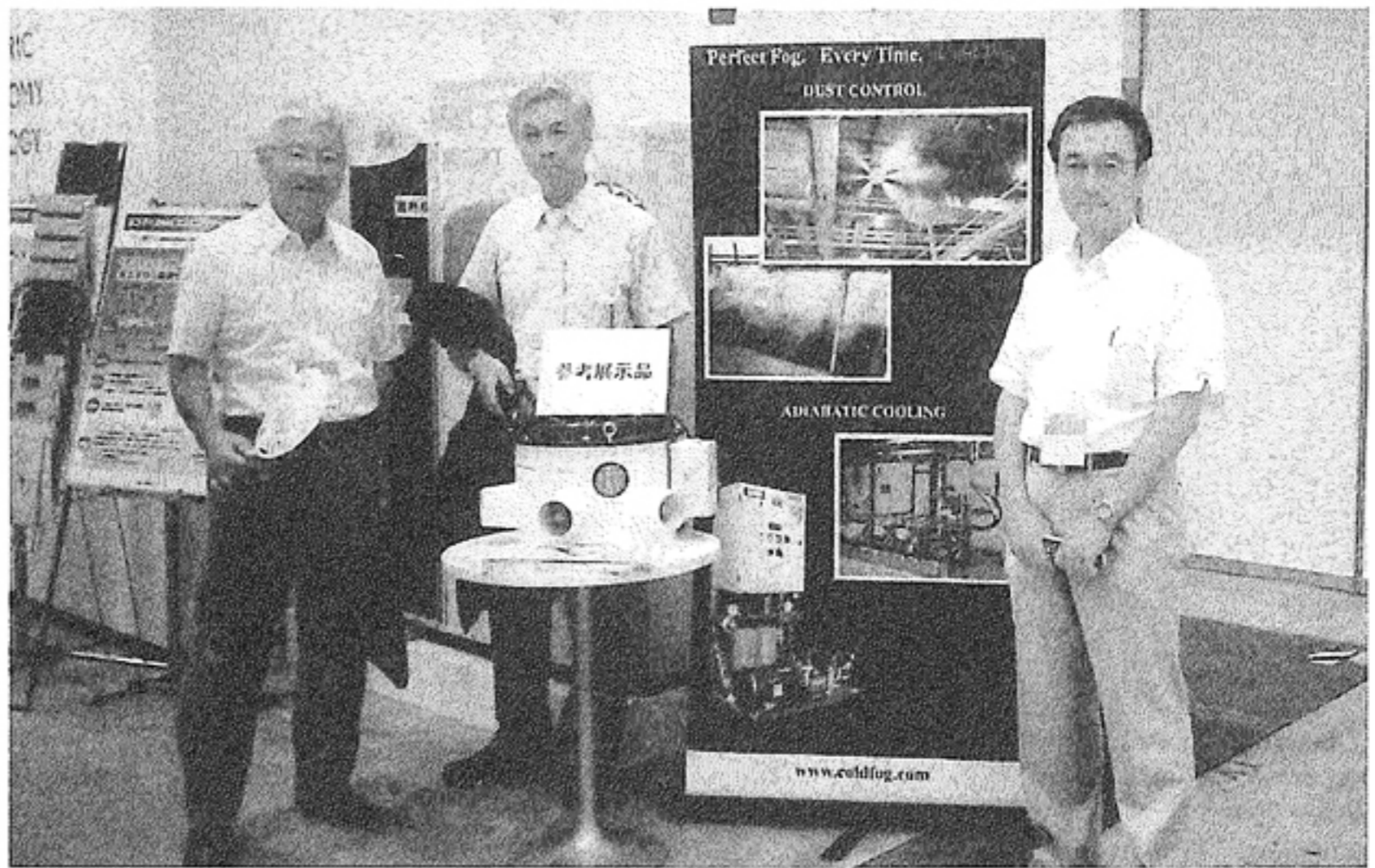


東京冷凍空調事業協同組合

米ASI社の超微粒子噴霧システムの国内総販売権を取得 新たにコールドフォグ事業部を設立し拡販へ

東京冷凍空調事業協同組合（沖原正宜理事長）はこのほど、(株)アクアエコテックスを通じて米アトマイジング・システム社の超微粒子噴霧システム「コールドフォグシステム」の日本国内総発売元となった。これに伴い同組合では新たにコールドフォグ事業部（高橋紘事業部長）を設立、積極的に拡販に乗り出した。



去る7月23日から25日まで東京・有明の東京ビッグサイトで開かれた東京電力など主催の「エネルギー・ソリューション&蓄熱フェア」では東京電力グループの(株)イーズのブースの一角に「コールドフォグ・システム」を参考出展し、カタログを大量に配布した。

その効果が直ちに現れ、導入を検討（飲料メーカー、電鉄会社）、販売店になることを希望（新潟の会社）、工場に採用したい（北陸の食品メーカー）、業務提携したい（機能氷メーカー）などの声が寄せられているほか、実際に機械を見たいとわざわざ上京する人も増えている。

組合では今秋までに組合員が所有する埼玉県下の工場に設置、デモンストレーションをかねて性能試験などを行い、関

係者や報道関係者に公開する計画。

なお、コールドフォグシステムは①ルビーオリフィスを採用、25年の長寿命保証、②噴霧は微粒子1～15ミクロンで設定可能、③インバーター搭載のポンプステーションによる省エネ運転、④2流体方式に比べても40%の省エネ効果などの特徴があり、組合では世界的に認知された「オンリーワン商品」を扱うことにより新規事業の展開を軸に、副次効果として在来空調工事の拡大にも繋がりたいと期待している。

写真はフェア会場で、コールド・フォグを中心に左から、東京冷凍空調事業協同組合の沖原理事長、高橋事業部長、横山誠市・プロジェクトマネージャーの各氏。なお、詳細は同事業部 電話03-3580-2625、FAX03-3500-3778まで。